

報告日：令和4年11月17日

名 称	令和4年度 第1回 男女共同参画審議会
日 時	令和4年11月10日(木) 14時00分～15時20分
場 所	菊沢コミュニティセンター 会議室
出席者	塩入佳子委員、齋藤淳委員、大貫ヤイ委員、設楽光江委員、梅澤英夫委員、 荒井訓子委員、柴田友子委員、鈴木紹平委員、藤田義昭委員、(9名) 事務局: 福田市民部長、日向野人権推進課長、男女共同参画係 阿部、福井
内容及び 結果等	1. 開会 日向野課長(進行 日向野課長) 2. 会長あいさつ 3. 自己紹介 4. 議事 (議長 塩入会長) (1) 「かぬま男女共同参画プラン2017」令和3年度実績について… 資料1 阿部説明 藤田委員：P4の「男女共同参画の視点に立った地域活動」で男性向け講座開催等男性受講者の数字を見るとまちづくり支援講座が男性3名、成人対象講座が2名。男性の方に男女共同参画の理念を学ぶ機会を作るべきと感じる。 日向野課長：生涯学習課の事業になるが、令和3年度の実績で男性の参加者が少ないようなので、新しいプランで進めていければと思う。 (2) 「かぬま男女共同参画プラン2022」の概要及び数値目標について・・・ 資料2-1 資料2-2 、冊子「かぬま男女共同参画プラン2022」により阿部説明 柴田委員：女性の消防団員がたくさんいて、いろいろ活躍していて素晴らしい。 塩入委員：女性の消防団員はどれくらいいるのか。 阿部：確認して答える。 鈴木委員：資料1のP7に出会いの場提供事業があるが、男女だけでなく、国籍や性も関係なく多方面でこのような事業をしてもよいのでは。 年齢、国籍、性同一性、様々な出会いを求めている人もいるかもしれない。そういう多方面で開催しているのは他では聞かない。男女共同参画をやっていて男女だけではないという部分での開催もできるのではと考えた。 日向野課長：鹿沼市はパートナーシップ制度を栃木県で第一番にやっている、多様な性について今後施策としていきたい。パートナーシップ制度についても広まりを見せているので、今後も色々な施策で男女共同参画を啓発していく。 大貫委員：少子化の問題では、二人目三人目を欲しいと思った時、母親への負担が大きい。職場、育休、経済の問題等いろいろ考えた時、女性に優しい職場復帰、男性の育休等が認められたが、まだ男性が育休を取っている実態を見たことがない。まだまだ少子化政策はやってほしいと思う。

	<p>設楽委員：子育てしやすい環境を整えていくことが必要。市の子育て事業もコロナ禍でなかなか実施できないと聞いた。また再開を願う。</p>
	<p>荒井委員：子育て支援センターの運営を委託事業の一つとして行っている。プランP56の「赤ちゃんふれあい体験交流事業」に関わっている。この事業が子育てしやすい環境に繋がっていると願いを込めて活動を続けていきたい。このような活動を中学生だけでなく、高校生にも広げてほしい。体験活動を通して子育てをする楽しさを感じたり、社会で子どもを育てる意識を持ってもらうきっかけづくりにより子育てしやすい環境、少子化対策に繋がるのではないかと。</p>
	<p>塩入会長：先ほど生涯学習の講座で、男性の参加が少ないという話があったが、そのような試みが増えていき、多くの方に浸透していけばよいと思う。</p> <p>最近性的なセクハラとか事件があり、高校生、中学生、大学生当たりの若い男子学生に性教育を改めて取り組んだとテレビでやっていた。教育現場での取り組みをもっと積極的にと思っていた。校長先生どうか。</p>
	<p>梅澤委員：性教育に関しては公立学校では必ず年一回講演会を行う事になっており、先日助産師に全校生徒の前で講演をしていただいた。</p> <p>プランP12の意識調査の結果に、学校教育の場では男女平等の意識が高いとあるが、学校では男女共同参画やジェンダーについてはいろいろな機会を通して指導している。学校現場では意識改革は進んでいると感じるが特に感じたのは女子生徒への意識付けより男子生徒への意識付けが重要ではないかと常々考えていた。また、この調査で数値が特に低いのは職場と政治の部分かと思うが、職場に関しては各事業所に出向いて、例えば男女共同参画についての講話を行うとか、そういうことは行われているのか。</p>
	<p>塩入会長：県の見解は。</p>
	<p>齋藤委員：男女共同参画センターでは出前講座があり、希望があればそれぞれの職場に行き男女共同参画やDVについて実際に説明を行っている。</p>
	<p>塩入会長：いろいろなご意見を伺いながら、まずは自分の周りから広めて、意識改革を進めていければと思う。</p>
	<p>日向野課長：先ほどの女性の消防団員の人数の件だが、令和3年4月1日現在で、消防団員785名のところ女性は15名。今後益々増えていくことをお願いしていきたい。</p>
	<p>5.その他 資料3 「イクボス」普及・啓発事業の実施について…阿部説明</p>

	<p>藤田委員:男性への普及啓発意識の改革が必要ということで、ここに市長が「女性の活躍を加速する男性リーダーの会」に参加したという記事があって、この鹿沼版「男性リーダーの会」を行う事を提案する。次年度の計画に市内の事業者や団体への呼びかけするという事は、それぞれの事業者のリーダーの方に来ていただいて、これを私は来年の目玉事業としてやるべきだと思う。先ほどの男性の参加率が低いというのはそもそもそのテーマが男性の興味がないものだと思う。そうではなくて男性に集まってもらって、それから議論をすべきだと思う。最初から男性のリーダーの方事業者に向けてこれをやるから来てくださいとそれくらいの感じで、鹿沼版男性リーダーの会をやっていただきたい。私の方からは是非要望として出したいと思う。</p> <p>日向野課長:貴重なご意見ありがとうございます。イクボス普及など今後男性リーダーなどをやって行くときは、市内の事業所や団体リスト等が必要となっていくしますので、その際には是非ご協力よろしくお願ひしたい。</p> <p>6.閉会 日向野課長</p>		
配付資料	<p>当日配付・次第・名簿・資料3「イクボス」普及・啓発事業の実施について 事前配付・資料1「かぬま男女共同参画プラン2017」令和3年度実績 ・資料2-1、2-2「かぬま男女共同参画プラン2022」の概要及び数値目標について ・「かぬま男女共同参画プラン2022」冊子</p>		
次回予定	令和5年度		
記録者	阿部		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	・ 非公開	(公開の場合) 傍聴人数 0人